

会議記録（１）

会 議 名 称	令和８年度第１回北本市地域公共交通会議
開 会 及 び 閉 会 日 時	令和８年７月７日（火） 開会 午後２時 閉会 午後３時１０分
開 催 場 所	北本市文化センター 第１・２会議室
議 長 氏 名	新井 信弘
出 席 委 員 (者) 氏 名	新井信弘 大山博 野口佳一 若林良任 長谷川祐 島田幸夫 関根肇 内田彰 伊藤利夫 根岸成子 磯部義雄 関根治人 秋葉清 鈴木洋行 三ツ木正子 武石昌之 鳥羽隆史 久保田尚 吉田正宏 大嶋清泰
欠 席 委 員 (者) 氏 名	鈴木貴大 長谷川洋司 森村正寿 柳田謙
説 明 者 の 職 氏 名	くらし安全課長 中根 武 くらし安全課主幹 夫馬 正浩 主査 五十嵐 亮太
事務局職員 職 氏 名	くらし安全課長 中根 武 くらし安全課主幹 夫馬 正浩 主査 五十嵐 亮太
会 議 次 第	１ 開会 ２ あいさつ ３ 会議の公開について ４ 議題 (1) 北本市地域公共交通計画の策定について (2) 市民アンケートについて (3) デマンドバスの増車実証実験について ５ その他 ６ 閉会
配 布 資 料	・資料１ 北本市地域公共交通計画について ・資料２ 市民アンケート調査票（案） ・資料３ 北本市デマンドバス増車実証運行経過報告 ・資料３ 補足資料 北本市デマンドバス増車実証運行経過報告（過年度比較）

会議記録（２）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会 会議の成立 委員24名中、20名が出席されていることから、会議が成立する。 2 あいさつ 副市長あいさつ。 3 会議の公開について 会議公開を決定。傍聴人５名。 以下、新井会長が議長となり、議事を進行する。
議長	4 議題 ここから、議題に入らせていただきます。 「議題（１）北本市地域公共交通計画の策定について」、事務局より説明を求めます。
事務局	― 資料１をもとに説明 ― ・現状経過、今後のスケジュールについて ・計画の構成について ・各種アンケートの説明（市民アンケート、公共交通事業者アンケート、公共交通事業者ヒアリング、公共交通利用者アンケート調査） ・各施策イメージについて
議長	「議題（１）北本市地域公共交通計画の策定について」、ご質問、ご意見はございますか。
大嶋委員	計画については、委託をするのですか。
事務局	策定業務を委託しており、６月に契約を締結済みとなります。
事務局	計画の策定にあたっては、資料９ページで示させていただいております施策が大変重要になります。本日記載している内容は、事務局が考えたものにはなりますが、これ以外にも委員様からご意見があれば、本日の会議に限らず、後日でも頂戴いただければと思います。
久保田副会長	資料１の内容については、全国どこでも使える内容になっているという印

会議記録（２）

事務局	象があります。これから市民アンケートで具体的な問題点等を挙げていただく形にはなるかと思いますが、現時点で事務局が感じている北本市の問題点がありますか。 バス停から３００メートル圏内の徒歩利用圏を確認しますと、本市は、西側の一部地域でバス路線の廃止により一部空白の地域はありますが、ほぼ市全域をカバーできております。また、交通不便地域については、デマンドバスを運行して、路線バスの補完を図っています。コミュニティバスを走らせている自治体もございますが、１億円を超える経費をかけている場合もございます。本市においては、デマンドバス４台に対し約３千万円、デマンドバスの増車実証実験に約１千３百万円、民間バス路線に対する負担金もありますが、比較的金額を抑えた形で市全域を網羅できているのではないかと考えております。ただ、西側の一部の地域等でバス路線の足りないといったご意見やデマンドバスの予約がとりづらいといったご意見もいただいておりますので、基本的には、現在の公共交通の維持を大前提に、現在実施している事業の利便性の向上や、その他新規事業を計画内に盛り込んでいきたいと考えております。
若林委員	デマンドバスの利用者登録については、電話だけでなく、メールやラインで登録する方法は検討しないのでしょうか。利用者アンケートもそうですが、メール登録いただいている方には、そのメールをとおしてアンケートをご回答いただいた方が良く考えます。紙での配布による回収やその後の集計についても、手間かと思いますがそういった検討はされていますか。
事務局	デマンドバスの利用者登録については、窓口に来ていただいて必要事項を記入いただく方法やデマンドバスの運行を委託しております事業者に対し、直接電話をしていただき、登録を行っていただく方法などがございます。運行予約を取る方法については、電話による登録とポケットバス停というインターネット予約の方法があります。窓口に来ていただいた方に対して、インターネット予約のご案内をしますが、デマンドバスのご利用者の年齢層が高いこともあり、なかなかインターネット予約をご利用いただけず、メールアドレスも伺えないということが実態としてございます。利用者登録においてもインターネット予約は１割にも満たない形となっております。デマンドバスの利用者アンケートについては、運行会社にご協力をいただき、利用者の方に対して、乗車時に直接配布をしていただき、調査票にはQRコードも記載して、インターネットでの回答も可能とするほか、紙での回収もできるよう

会議記録（２）

議長	にする方向で進めております。ご指摘の内容については、課題としては認識しておりますが、現状はこのような形となっております。 議題(1)では、現時点での構成と考える施策について、事務局より説明がありました。随時ご意見を頂戴したいという話も事務局からありましたので、この場でなくとも、こういったことを取り組んだらどうか等、直接事務局まで、ご意見を頂戴できれば幸いです。 他になにかございますか。 — 特になし —
議長	次の議題に移ります。 続きまして、「議題（２）市民アンケートについて」事務局より説明を求めます。
事務局	— 資料２をもとに説明 — ・市民アンケートの概要について ・市民アンケートの設問内容について
議長	「議題（２）市民アンケートについて」ご質問、ご意見はございますか。
久保田副会長	１１ページの問１５について、「今後、高齢化の進行や物価の高騰等により市の財政負担は更に上昇するものと考えます」とあるので、今の公共交通を維持しても負担は増えていくということが前提の質問であると考えます。そうした場合に、選択肢にこれに合致する回答がないので、追記した方が良いと考えます。
事務局	回答項目を増やして対応します。
根岸委員	市民アンケートは世帯全員に配布するのですか。
事務局	地区毎の人口比率を算出して、アンケート対象者数２，０００人をその比率で配分し、抽出します。
根岸委員	年齢で抽出はしないのですか。

会議記録（２）

事務局	年齢については、完全に無作為で行います。
根岸委員	デマンドバスや路線バスにおいても免許返納者や年齢の高い方が利用していますので、そちらの方々の意見を多く聞かないといけないのではないのでしょうか。
事務局	デマンドバスと路線バスの利用者の方々については、個別にアンケート調査を行いたいと考えております。
久保田副会長	９ページの問１０については、事務局より、サンプル数が少ないため、設問項目として設定しないとの説明がありましたが、せっかく社会福祉協議会が素晴らしい取り組みを行っていただいているのにもったいないのではないのでしょうか。確かに（２）の内容は利用者向けであり、回答者は少ないかもしれませんが、（１）の事業を知っているかといった内容や事業に対する評価は設けても良いのではないのでしょうか。アンケート調査は事業を知ってもらう良い機会でもあります。
鈴木委員	令和７年度末で２３０人程の登録がありますが、全員使用しているわけではありません。事業の周知という点はもちろんありますが、事務局の説明のとおり、サンプル数が少ないということはあるかと思います。
議長	各委員の皆様の意見を踏まえて事務局は設問を設定してください。また、鈴木委員におかれましては、可能であれば、サービス対象者の方や利用台数等のデータ提供等をお願いいたします。
事務局	問１０については、対象者の方が市の人口の１．８％となっております。２，０００人でアンケートを出した場合に、回答率を４０％と想定すると回答いただける可能性のあるのが１５人前後となります。こちらの人数で、事業の認知度等について質問した場合に、意見の偏りが出る可能性がありましたので、今回は削除する方向で事務局としては考えたところです。
事務局	また、アンケートからは外しますが、福祉との連携という視点は重要ですので、利用状況等については、個別に確認をしていく予定です。
大嶋委員	問１１の（２）について、バス路線の維持していくための取組は、重要な設問であると思います。県では、バス路線の運転手を確保したあとの支援

会議記録（２）

	として、女性更衣室の整備等にも補助を出しています。回答項目を１０個くらいに増やし、３つまで○を可能として、考えうる施策を記載していただければと思います。
事務局	回答項目を増やして対応します。
三ツ木委員	北本市はコミュニティバスはないのですか。ケンちゃんバスはコミュニティバスではないのですか。
事務局	けんちゃんバスは民間事業者が運行しており、北本市はコミュニティバスを運行しておりません。
鳥羽委員	問１０では、事業を知っている方がほとんどいないと推定されることから設問を外した方が良いという認識でよろしいでしょうか。
事務局	実際に障がい福祉のしおり等で周知はしておりますが、対象者が少なく、認知度もかなり低いのではないかとということで、今回は外す方向で考えております。
根岸委員	先ほど、コミュニティバスの話がありましたが、こういったアンケートや会議をして、結果を計画に反映、改善していくということで良いのですか。
事務局	今回のアンケート調査や本会議は地域公共交通計画を策定するため、実施するものとなっております。
議長	今回のアンケート調査は公共交通を改善し、それを計画に反映するために様々な資料を集め、実施をするものとなります。本会議も公共交通の改善のため、実施をしているものとなります。
鈴木委員	アンケートの回答項目の中に「どちらでもない」、「わからない」とありますが、「どちらでもない」は必要なのでしょうか。
事務局	可もなく不可もなく「普通」をいうことで設けております。
事務局	４択にし、普通を入れない場合は、やや満足に傾くという傾向もあるかと思うのと、知らないといったように実情が分からない方もいらっしゃるかと

会議記録（２）

議長	思いますので、このような回答項目としております。 また、何かございましたら、後日にでも事務局の方へご連絡いただければと思います。事務局は、本日の意見を反映させたくてアンケート調査を実施してください。 続きまして、「議題（３）デマンドバスの増車実証運行について」事務局より説明を求めます。
事務局	— 資料３、資料３補足資料をもとに説明 — ・デマンドバスの増車実証運行の内容について ・４月、５月実績の報告について
議長	「議題（３）デマンドバスの増車実証運行について」ご質問、ご意見はございますか。 — 特になし —
議長	今のところ増車による狙いとその効果については上がってきているということの良いのでしょうか。
事務局	その通りです。
議長	実証実験は今年度までとなりますので、状況を確認し、ある程度の段階で継続の可否等について検討することになります。今回は経過の報告となります。後日でも構いませんので、意見等ありましたらお寄せ頂ければ幸いです。 本日予定しておりました議題については、全て終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。議題進行にあたり、委員の皆様の御協力に深く感謝申し上げます。進行を事務局に戻します。 ありがとうございました。
事務局	４ その他 ５ 閉会 久保田副会長あいさつ